

令和7年度環境学習リーダー 養成講座

未来の地球・子どもたちのために私たちができること

オンライン
開催



● 日時／10月7日・17日・31日

11月9日・21日【裏面参照】

午前の部 10時～、午後の部 14時～

☆全10講座 ☆1講座から受講可能

● 定員／100名(応募多数の場合抽選)

● 対象／神奈川県内在住、在勤、在学の高校生以上の方

☆8割以上出席した方には修了証を授与します！

● 参加費／無料(受講に係る通信費用は受講者の負担となります。)

● 開催方法／Zoomによるオンライン開催(ライブ配信)

☆オンデマンドによる視聴も可能

● 講座内容／環境の専門分野の講師による幅広い知識と環境活動実践者の活動例などを学び、地域での環境活動を実践する指導者を目指すための基礎講座です。 ※全て座学講座 ※各講座の詳細内容はチラシ裏面参照

☆ライブ配信時は各講師に質問もできます！

申込み方法

「応募フォーム」または「ハガキ」

● 応募フォーム ●

右の二次元コードから応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

環境科学センターHP「講座・イベントのお知らせ」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/kankyougakushu/event.html>

● ハガキ ●

以下①～⑤の内容をご明記のうえ、下記の **申込み・問合せ先** までお送りください。

① 申込み講座名(環境学習リーダー養成講座) ② 郵便番号・住所 ③ 氏名(ふりがな)

④ 電話番号 ⑤ メールアドレス【①～⑤はすべて必須項目】

☆どちらも受付期間は**9月1日(月)～9月21日(日)(必着)**です。



令和7年度環境学習リーダー養成講座 < 日程表 >

日 時	タイトル	内 容	講 師
1日目 10月7日 (火曜日)	10時～	神奈川県の大气・水環境の現状と課題について	私たちに身近な大気や水の環境について、環境基準や県が実施しているモニタリング調査などを紹介するとともに、調査結果を踏まえて県内の現状や課題をお伝えします。
	14時～	SDGs達成に向けた世界の進捗状況とポスト2030への展望	日本の自発的国家レビューを含むアジア太平洋地域のSDGsの進捗状況や、2030年以降の「ポストSDGs」に向けた環境課題のシナジイ的取組等の国際議論の解説に加え、若者や市民の参画についても紹介します。
2日目 10月17日 (金曜日)	10時～	食品ロスの現状と課題・削減に向けた取組について	食品ロスは生産、製造、販売、消費等の各過程で発生し、その削減には事業者、県民がこの問題を自分事として捉え、行動することが必要です。そこで、食品ロスの現状と課題、県の施策のほか、削減に向けた具体的な取組等について講義します。
	14時～	再生可能エネルギーについて考えよう ～地域と共生するために～	脱炭素社会に向けて、風力や太陽光発電の利用が進んでいます。その必要性は誰もが認めますが、地域社会や自然環境にどんな影響が起こるでしょうか？地域に歓迎される再生エネルギーとは？環境政策の視点からわかりやすく解説します。
3日目 10月31日 (金曜日)	10時～	有機フッ素化合物(PFAS)に関する環境省の取組	規制やリスク管理に関する取組が進められているPFOS、PFOA等について、環境省で行っている科学的根拠に基づく対応や国民へのわかりやすい情報発信等についてお話します。
	14時～	①名古屋の棚田から「米づくりと生物多様性・気候変動」を見る ②環境学習の進め方について	①丹沢山麓・名古屋にフォーカス。棚田の復元・米づくりにより生物多様性の再生を図り、気候変動の災害をNPOと行政の協働で復旧した現場。創設33年の環境NPOの想いとテーマ、活動継続の仕組みと実践を伝えます。 ②「環境学習の進め方について」を主題として、「環境学習とは何か」、「環境学習事例」、「講座を進める上での注意点」等について解説を行います。
4日目 11月9日 (日曜日)	10時～	脱炭素・資源循環・自然再興を日々の暮らしから	ゼロカーボンアクション、サーキュラーエコノミー等、今社会は大きく変革の時、一人一人の役割から第五次循環型社会形成推進基本計画を読み解き、情報のつなぎ手になりましょう
	14時～	市民活動について	ボランティア活動をはじめとする市民の公益的な活動を支える組織の成り立ちや運営方法を事例とともに解説し、今後について考えます。
5日目 11月21日 (金曜日)	10時～	生物文化多様性の視点で持続可能な社会づくりを目指す	生物多様性の喪失は身近に捉えにくい世界的課題の1つである。どうしたら身近に捉えて具体的な行動に結び付けていけるのか、「生物文化多様性」の視点から持続可能なウェルビーイング社会の実現に向けて生物多様性教育を考えます。
	14時～	①事業活動を通じたネイチャーポジティブへの貢献 ②貴金属リサイクルによるサーキュラーエコノミーへの取り組み	①企業が自然を守ることは当たり前となっています。タイヤの製造に欠かせない天然ゴムを持続可能な資源にする取り組みと、生産事業所を地域生態系にプラスなものにしていく取り組みについて紹介します。 ②希少な貴金属はその優れた特性から幅広い分野で使用されています。近年、次世代エネルギーや医療など最先端技術分野での活用も進んでいます。貴金属のリサイクル技術を活かした資源循環についてご紹介します。

※各講座は、受講申し込み者に限りオンデマンド視聴が可能です。

※Zoomの視聴用URLやその他の連絡はお申込時に登録されたメールアドレス宛にお送りいたします。